

令和6年4月18日

2点目の^{もっかん}木簡が出土しました！

福島西道路改築事業に伴う発掘調査（西久保遺跡^{にしくほ}）において2点目の木簡が出土し、赤外線画像の分析により墨書きの文字が判明しました。

※木簡 文字が記された木札

記

1. 2点目の木簡の内容

文字	「郡司□□ [不参カ] 状□」の6文字（5文字判明、1文字不明）
内容	郡司が西久保遺跡に来ないことを伝える書状
年代	7世紀から9世紀頃（出土した土器の年代から推定）
寸法	長さ13.0cm、幅2.7cm、厚さ0.3cm、樹種不明
出土場所	鎮兵木簡と同じ流路跡

※1点目の鎮兵木簡との関係性や年代の前後関係は不明。



2. 専門家のコメント（宮城県多賀城跡調査研究所 吉野所長）

○国司などの有力者が郡境を出入りする際、当地の郡がもてなす行為を行うことがある。
当遺跡でも同様のことをしていたとすれば、信夫郡の郡司がもてなしの場に来られないことを伝えるための木簡と考えられる。

○西久保遺跡は、郡司が訪れるような役所機能を持つ有力者の居宅と考えられる。

担当：文化振興課 文化財保護活用係
課長 齋藤 係長 新井
電話 024-525-3785（直通）

2点目の木簡が出土しました！

記者配布資料



実物



赤外線画像

郡
司
□不
□参
状
□

○西久保遺跡から **2点目の木簡が出土**しました！
(鎮兵木簡と同じ流路跡から出土)

○木簡には6つの文字(判明5、不明1)

文字 「郡司□□状□
[不参_カ]

読み ぐんじ まいらずのじょう □

内容 **郡司が西久保遺跡に来ない**ことを伝える書状

○サイズ 長さ13.0cm、幅2.7cm、厚さ0.3cm

○年代 7世紀から9世紀頃(出土遺物の年代)



実物



赤外線画像

郡司

□ 不
□ 参
カ
状

□

【郡司は誰か？ 何に参らずなのか？】

○国司などの有力者が郡境を出入りする際、
地元の郡がもてなしをすることがある。

○この遺跡でも同様のことをしていたとすれば、
信夫郡の郡司がもてなしの場に来られない
ことを伝えるための木簡。

○西久保遺跡は郡司が訪れるような性格の遺跡。
役所の機能を持つ有力者の居宅と考えられる

○1点目の鎮兵木簡との関係性・年代の前後関係は不明。

[宮城県多賀城跡調査研究所 吉野所長のコメント]